



Shire King 取り扱い説明書

S K 60

安全上のご注意

このたびはSHIRE KING製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になる前に「この安全上のご注意」を良くお読みになり正しくご使用ください。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性
または死亡する可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が障害を負う可能性
または物的障害が起こる可能性が想定される内容を示しています。



警告

<電源電圧について>

表示されている電源電圧（交流100V）以外の電圧では絶対に使用しないでください。
（火災、感電の原因となります）

<電源コードの取り扱い>

電源コードを傷つけたり破損したり加工しないでください。

電源コードのそばに熱器具を置かないでください。

電源コードの上に重いものを置かないでください。

<分解・改造はしないでください>

この機器を分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店または弊社サービス係までご依頼ください。

<水にぬらさないでください>

漏電による火事や感電の原因になります。万一、水にぬれた場合は次の処置を行ってください。

- 1、 本体の電源スイッチを切る。
- 2、 電源コードの差込プラグをコンセントから抜く。
- 3、 販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

<異常な音、故障状態で使用しないでください>

煙がでていたり、へんな臭いがする時などや、音が出ない、いつもとは違う異常な音が出

るなどの状態のときは火災・感電の原因となりますのですぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

<その他>

アンプを使用しないとき、あるいはおいてある場所を離れるときは短い時間でも必ず電源スイッチを切ってください。

使用を終了したときは確実に電源スイッチを切ってください。



注意

- *湿度の高い場所やホコリの多い場所には設置しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- *ぐらついた場所や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。
- *電源プラグの抜き差しはプラグ部分を持って行ってください。
- *ぬれた手でアンプ本体や電源プラグを触らないでください。
- *長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- *移動するときは電源コードをぬいてください。

SHIRE KING 日本総輸入元

有限会社シャスタトレーディング

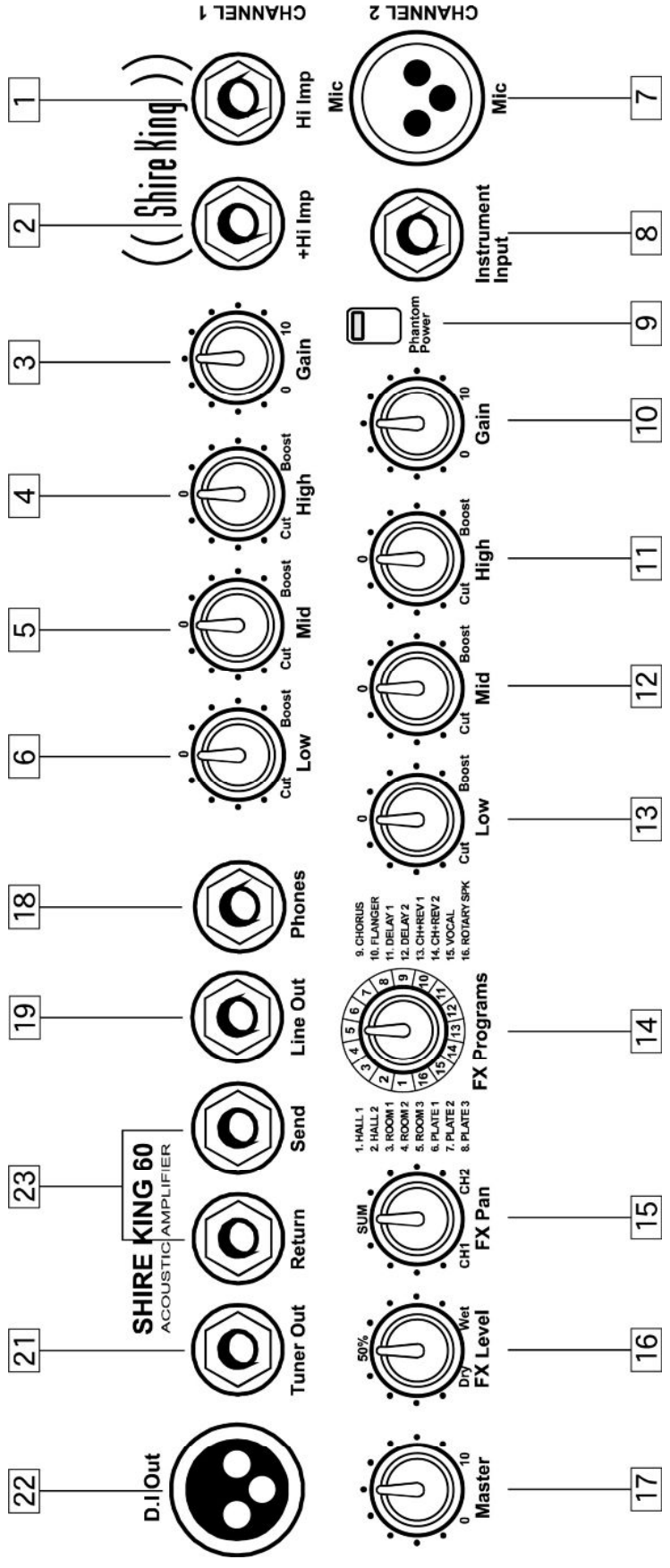
三重県鈴鹿市秋永町989-4

059-387-6924

info@shastatrading.com

シャイアキング SK60 の特徴

- 68W RMS の出力、マグネットを大型にした8インチのキャストフレームスピーカーと3インチのダイアフラム式ツイーターを搭載。
- アコースティックギターの音域に合うように設計されたスラント型バーチプライウッド製キャビネット（容量17リットル）はLOW C（約65ヘルツ）まで対応。
- 65ヘルツ以下の音域はスピーカー保護のためハイパスフィルターを搭載。
- より暖かい音質といきいきとした倍音を得るため、クラスA回路のICとハイインピーダンスインプットのFETを持つ。
- 効きのよいアクティブ3バンドEQを両チャンネルに搭載、ハイとロー側はカーブを緩やかになるように設計。センターでフラットなセッティング。
- 高品位アレシス製デジタルエフェクトを搭載。





Copyright Headway Music Audio Ltd.
 Designed in UK. www.headwayelectronics.com

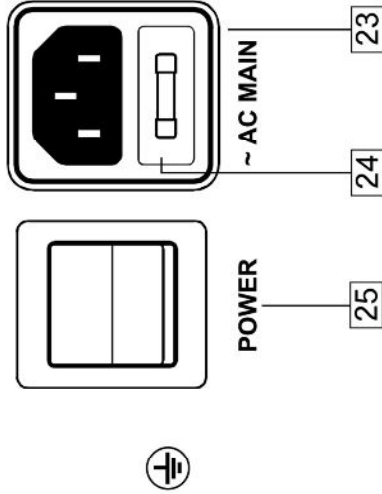
DIGITAL FX PROGRAM CHART

PRG NO.	FX TYPE	PRG NO.	FX TYPE
1	HALL 1	9	CHORUS
2	HALL 2	10	FLANGER
3	ROOM 1	11	DELAY 1
4	ROOM 2	12	DELAY 2
5	ROOM 3	13	CHORUS + REV 1
6	PLATE 1	14	CHORUS + REV 2
7	PLATE 2	15	VOCAL
8	PLATE 3	16	ROTARY SPEAKER

SHIRE KING 60
 ACOUSTIC AMPLIFIER

WARNING ! HOT

■ ~AC100V 50Hz FUSE T3.15A
 SPARE FUSE UNDER MAINS SOCKET



AVIS : RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE-NE PAS OUVRIR.

PLEASE SERVICE/REPAIR VIA QUALIFIED ELECTRONICS
 TECHNICIAN APPROVED BY HEADWAY MUSIC AUDIO LTD.

CAUTION !

TO REDUCE THE RISK OF FIRE,
 REPLACE ONLY WITH SAME TYPE FUSE AND RATING.

WARNING !:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK,
 DO NOT EXPOSE THIS EQUIPMENT TO RAIN OR MOISTURE.

SERIAL NUMBER
 MADE IN KOREA



コントロールパネル

チャンネル1

- 1、**Hi Imp** 5メガΩ以下のハイインピーダンス用入力です。主なサドル下用ピエゾピックアップやコンタクトピックアップ、シャイアキングの**The Band**に適しています。パッシブのサウンドホールピックアップをここに入れるとややブライتنا音になります。
- 2、**+Hi Imp** 20メガΩまでのエクストラハイインピーダンス用入力です。特にこの入力に使用するケーブルは高品位プラグを持ったものを使用し、できれば4メートル以内のものを使用するようにしてください。
- 3、**GAIN** CH1用ゲインコントロールです。時計方向に回すことによって大きくなります。**ジャックを差し込む際はこのつまみは0にセットしておいてください。**マスターボリューム(23)との使用方法で参考になる使い方を2通り紹介します。
 - 1、まず**GAIN**と**MASTER**を0にしてジャックを差し込みます。そしてマスターを70%ほどあげた後**GAIN**を時計方向に徐々に必要なボリュームまであげていきます。この方法はバックグラウンドノイズを最小に抑えることができます。
 - 2、両方0からまず**MASTER**を25%ほどあげます。その後**GAIN**を必要なボリュームまであげていきます。楽器を強く引いて歪むようであれば少し**GAIN**をさげ、必要なボリュームに応じて**MASTER**を少しあげます。この方法は適正なレベルに合わせたいときに最も有効な方法です。特に両CH使用しているときはお勧めします。
- 4、**High** 高域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB}@7\text{ kHz}$
時計方向に回すとブースト、反対方向でカット。
- 5、**Mid** 中域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB}@590\text{ Hz}$
ボディコンタクトノイズを減らしたいときはカットするとよい場合がある。
鉄弦の楽器で特にプリアンプをもつものにはこのつまみをカット方向に回すとよい結果が得られることがある。
- 6、**Low** 低域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB}@120\text{ Hz}$
バイオリンやマンドリンにはこのつまみをカット方向に回したほうがよい場合が多い。
ボディコンタクトノイズやローエンドハムノイズ、低域によるフィードバックがある場合はカットしてください。

チャンネル2

7、Mic 2 k Ω 以下用マイクインプットです。

ダイナミック、ファントムパワードマイクロフォン用 XLR インプット

8、Instrument Input 5メガ Ω 以下用ハイインピーダンスインプットジャック。

セラミックピエゾなどのピックアップを搭載した楽器に適しています

シャイアキングの The Band にも適しています。

9、Phantom power 押すことによってオンとなり、マイクに3.5Vの電源が供給されます。オンになると赤くLEDが点灯します。このスイッチをオンまたはオフにするときは常にGainつまみを0にしておいてください。

10、Gain CH2用のゲインコントロールです。7か8のインプットにジャックを差し込む際は必ずこのつまみを0にセットしておいてください。

*マスターとこのつまみの使い方に関してはCH1と同様です。3の欄を参照ください。

11、High 高域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB @ }7\text{ kHz}$

時計方向に回すとブースト、反対方向でカット。

12、Mid 中域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB @ }590\text{ Hz}$

詳しくはCH1の5と同様。

13、Low 低域用トーンコントロール $\pm 12\text{ dB @ }120\text{ Hz}$

詳しくはCH1の6と同様。

14、FX Program アレシス社製デジタルエフェクトプログラムセレクター

PRG NO	EX TYPE	PRG NO	FX TYPE
1	ホール1	9	コーラス
2	ホール2	10	フランジャー
3	ルーム1	11	ディレイ1
4	ルーム2	12	ディレイ2
5	ルーム3	13	コーラス+REV1
6	プレート1	14	コーラス+REV2
7	プレート2	15	ボーカル
8	プレート3	16	ロータリーSP

15 FX Pan CH1とCH2のエフェクターパンです。センターでCH1とCH2のエフェクターレベルが50対50になります。左にいっぱい回すとCH1のみにエフェ

- クトがかかり、右にいっぱい回すと **CH2** のみにエフェクトがかかります。
- 16、**FX Level** ドライ音とウエット音（エフェクト音）の割合を決めます。
センターでエフェクトの係り具合が50%です。
- 17、**Master SK60** のアウプットレベルを決めます。パワーアンプ部へ送るシグナルの量と背面にあるラインアウトのレベルにも関係します。
- 18、**Phones** ステレオヘッドフォン用をここに差し込むと内蔵スピーカーはミュートされます。練習時やレコーディング時に使用してください。
- 19、**Line Out** **CH1** と **CH2** の両 **CH** のシグナルが出力されます。トーンコントロールやマスターつまみなどすべてのつまみを通ったあとのシグナルです。
0,5V RMS@100 Ohms
- 20、**Return Send** 外部エフェクター用センドリターン端子です。
Send からは **EQ** とマルチエフェクツを通ったあとで **Notch Filter** を通る前のシグナルが出力されます。
Return に入力された信号はアンプのアウプットとラインアウトに入ります。
ですからその外部エフェクター自身がドライ音とウエット音のバランスを持って
いることが必要となります。リターンにウエット音のみ入力するとドライ音が失
われることとなります。
- 21、**Tuner Out** チューナーアウトです。**CH1** からのプリ **EQ** アウトとしても使えます。
CH1 の **Gain** からも独立したピュアなクリーンサウンドです。
Unity Gain@1k Ohm (input level に関連している)
- 22、**D.I.Out** **CH1** と **CH2** の両 **CH** の **EQ** 前のシグナルが送れるバランスド **XLR** ア
ウトです。このレベルは **SK** アンプの **EQ** やボリュームつまみに左右されません。
Input Level@1k Ohm (input level に関連している)

リアパネル

- 23、**AC MAIN** 電源ケーブルのインプットです。100V AC 50/60Hz 以外の
電源を使用しないでください。また使用していないときは電源ケーブルを差し込ん
だままにしないでください。
- 24、**スペアフェーズボックス** スペアのフェーズが格納されています。T3アンペアのフ
ェーズを使用しています。
- 25、**POWER** パワースイッチです。オンにすると赤いランプが点灯します。使用して
いないときはオフにしてください。

セットアップに関する注意事項

- * エレキギターは差し込んでも大丈夫ですし、歪み系のペダルなども使用できますが、決してアンプ自体をオーバードライブさせないでください。
- * SK60 は通常のエレキギターアンプの代わりにはなりません。どんな楽器を使用する際も SK60 自体で歪みを作ることは避けてください。
- * SK60 はベースギター、ダブルベース、フルレンジキーボードには対応するように設計されておりません。これらをつなげてスピーカーなどを痛めても保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- * ただしベース EQ を 0 にすればベースを使用しても大丈夫な場合もあります。
- * 熱対策をしてください。リアパネルの部分に空気が流れるように設置し、カーテンや熱機器を近くに置かないようにしてください。
- * 強力な磁気を発するものの近くにアンプ本体やケーブルを置かないようにしてください。